

平成 27 年度
京都大学防災研究所 年 報 第 59 号

第 59 号 A

林 春男教授・田中仁史教授のご退職によせて 寶 馨 1

特別講演

災害レジリエンスと防災科学技術 林 春男 34

我が半世紀 田中仁史 58

災害調査報告

2015 年ネパールゴルカ地震の建物被害調査と常時微動計測

..... 山田真澄・林田拓己・Jim MORI・Walter MOONEY 65

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による鬼怒川流域の洪水災害 佐山敬洋・寶 馨 74

2014～2015 年口永良部島噴火の調査報告 為栗 健・井口正人・中道治久・山本圭吾 85

災害から学ぶ —2015 年 3 月バヌアツ共和国を襲ったサイクロンパムー 西嶋一欽 91

防災問題における資料解析研究 (43)

..... 矢守克也・林 春男・Ana-Maria CRUZ・James GOLTZ・横松宗太・大西正光・李フシン 98

京都大学防災研究所 平成 27 年度 共同研究報告 109

組 織 245

第 59 号 B

緊急支援物資輸送 (ERL) シミュレーションに関する基礎的検討	熊谷兼太郎・小野憲司	1
Understanding Natech Risk Perception and Adjustment of Households Living near Industrial Areas in Osaka Bay	Junlei YU and Ana Maria CRUZ	6
Development of University Strengthening Program for Enhanced Contribution in Disaster Risk Reduction in Eastern Indonesia	Krishna Suryanto PRIBADI, Farah MULYASARI, Rahma HANIFA and Aria MARIANY	33
総合的防災教育の構築	中井 仁	42
焼岳火山地域における地動データの利用による土石流等発生位置の決定	大見士朗	48
四国西部域での広帯域 MT 観測	吉村令慧・山崎健一・小川康雄・中川 潤・川崎慎吾・小松信太郎・ 米田 格・大内悠平・岡崎智久・鈴木惇史・齋藤全史郎・寺石眞弘	57
宮崎地殻変動観測所における地殻変動と日向灘地域の地震活動 —最近 30 年間(1986–2015)の観測結果—	寺石眞弘・小松信太郎・山崎健一・山下裕亮・澁谷拓郎	62
地殻歪の年周変化について —近年の年周変化量の減少について—	森井 互	67
1882 年 (明治 15 年) 2 月の泥雨記事	加納靖之	72
無人ヘリによる口永良部島火山口周辺域における地震観測点の再構築	大湊隆雄・金子隆之・小山崇夫・渡邊篤志・神田 径・為栗 健	76
阿蘇カルデラ周辺の表層電気伝導度分布	鍵山恒臣・吉川 慎・宇津木 充	84
ひずみ空間多重せん断モデルによる粘性土の力学挙動の表現	井合 進・上田恭平	92
初期構造 (固有) 異方性を考慮した線形弾性体の多重せん断機構の概念に基づく解釈	上田恭平・井合 進	115
益城町, 西原村及び南阿蘇村における熊本地震被害報告書	橋本卓磨・飛田哲男・上田恭平	125
Study on Landslides in Weathered Granite Areas of Hai Van Mountain, Vietnam	Pham Van TIEN, Kaoru TAKARA and Kyoji SASSA	135
2007 年 3 月に生じた成層圏惑星規模波下方伝播イベントの予測可能性	向川 均・野口峻佑・黒田友二・水田 亮・小寺邦彦	145
フーリエ・ルジャンドル法の誤差特性	榎本 剛	153
逆転法と数値モデルによる陸上生態系からの炭素フラックスの推定値の比較 (2)	井口敬雄	159
領域別フラックスの季節変動と北半球中高緯度の寄与	上田 学・向川 均・小寺邦彦・野口峻佑	168
惑星規模波束の群速度を用いた成層圏突然昇温の励起源に関する解析	塩崎公大・高谷康太郎・榎本 剛	180
El Niño の日本冬季気候への影響	堀口光章	186
京都市近郊における気象観測結果の解析	鵜沼 昂・石川裕彦・Ayilari-Naa A. JUATI・Samuel O. ANSAH・ Peter NUNEKPEKU・Richard Yao AGYEMAN・Caleb MENSAH	192
ひまわり 8 号データを用いた地表面温度算出式の検討	山本雄平・石川裕彦	200
実在都市における中立大気境界層内の乱流組織構造	吉田敏哉・竹見哲也	211
GIS システムを用いた建物の強風被害に対する耐風性能要素の抽出に関する考察	丸山 敬・美並浩成・野田 博・西嶋一欽・ガヴァンスキ 江梨	217
RCM5 を用いたゲリラ豪雨をもたらす大気場の出現頻度の将来変化の推定	中北英一・森元啓太郎・峠 嘉哉・草野晴香・佐藤悠人	222

AGCM アンサンブルを用いた梅雨期集中豪雨の大気場特性の出現頻度に関する将来変化	中北英一・草野晴香・峠 嘉哉・Sunmin KIM	230
ゲリラ豪雨をもたらす積乱雲初期における鉛直渦管形成の解析	中北英一・佐藤悠人・山口誠弘	249
豪雨の「種」を捉えるための都市気象 LES モデルの開発と積雲の生成に関する研究	山口弘誠・高見和弥・井上 実・須崎純一・相馬一義・中北英一	256
偏波ドップラーレーダの同化によるメソ対流系の降水予測精度向上に関する研究	山口弘誠・古田康平・中北英一	298
降雨予測情報を活用した雨水貯留施設の実時間制御による浸水防止と汚濁負荷削減	佐藤 豪・城戸由能・中北英一	323
中央アジア乾燥地自然植生の生理パラメータに関する検討	峠 嘉哉・田中賢治・Timur KHUJANAZAROV・中北英一	360
アンサンブル予報を用いた台風性降雨シナリオに関する検討	辻本浩史・本間基寛・増田有俊・吉開朋弘・井上 実	367
水門開放によって生じる重力流の 3 次元ラージ・エディ・シミュレーション	井上 実	376
不確実性を伴う災害情報の表現方法に関する言語学的検討	本間基寛・新井恭子・鈴木 靖・木谷和夫・辻本浩史	388
UAV (Unmanned Aerial Vehicle) を用いた高層気象観測技術の開発	佐々木寛介・井上 実・小島啓美・河見博文・町田駿一・渡辺 豊・名取悦朗・福田信行・平坂直行	395
バングラデシュ・ガイバンダにおけるネスティングモデルを用いたハザードマップの作成	橋本雅和・川池健司・出口知敬・PAUL Arpan・SALEHIN Mashfiqus・中川 一	403
Experimental Study on Transportation of Suspended Sediment on Side Basin	Rocky TALCHABHADEL, Hajime NAKAGAWA and Kenji KAWAIKE	411
土石流シミュレータを用いた土石流発生時の避難経路の検討	糸数 哲・中谷加奈・山野井一輝・長谷川祐治・藤田正治	420
地下空間の浸水対策としての樹脂製止水板の有効性に関する研究	井上貴央・有村友孝・浮島 徹・石垣泰輔・戸田圭一	426
田辺中島高潮観測塔における 2015 年夏季観測結果	馬場康之・水谷英朗・久保輝広・内山雄介・森 信人・ 渡部靖憲・山田朋人・猿渡亜由未・大塚淳一・二宮順一	431
簡易 Lagrange 型解法を用いた掃流砂モデルによる富田川河床変動シミュレーション	水谷英朗・武藤裕則	438
大潟海岸・上下浜の海底地形と海底底質の粒度組成 ―主に弧状沿岸砂州において―	内山 清	447
気候変動を考慮した日本の水力発電ポテンシャル評価	角 哲也・桑田光明・石田裕哉・丹羽尚人・小島裕之・ 井上素行・佐藤嘉展・竹門康弘・Sameh KANTOUSH	475
木津川における竹蛇籠水製の生息場形成効果	狩野幹太・竹門康弘・小林草平・角 哲也	484
ミツバチコロニー最適化手法を用いた重力ダム基本断面設計法	浜口俊雄・角 哲也・田中茂信・三島康二	497
排砂バイパスの運用とダム下流環境の変化 ―河床粗度と流水・止水ハビタットの多さに着目して―	小林草平・角 哲也・竹門康弘	508
ダム下流への置土が河床粒径分布および付着藻類の現存量に及ぼす効果	宮川幸雄・角 哲也・竹門康弘・小林草平	517

同一水系内のダム貯水池群を対象としたアセットマネジメント手法に関する検討	倉橋 実・角 哲也 525
Hydrological Modelling of Flash Flood at Wadi Samail, Oman	Mohammed ABDEL-FATTAH, Sameh KANTOUSH, Mohamed SABER, and Tetsuya SUMI 533
天竜川における副流路の湧水環境創出によるアユ産卵床の造成に関する研究	泉 公祐・竹門康弘・兵藤 誠・角 哲也 542
淀川におけるアユ遡上数の変動要因解析に基づいた将来予測モデルの検討	浦部真治・竹門康弘・角 哲也 557
Development and Validation of Heavy Rainfall Prediction Method Considering the Urban Activity Information in Jakarta, Indonesia	Muhammad SYAHIR BIN MD DIN, Kazuyoshi SOUMA , Hasti WIDYASAMRATRI,	Tadashi SUETSUGI, Jun MAGOME, Hiroshi ISHIDAIRA, and Kenji TANAKA 570